

第 37 回調理師養成施設調理技術コンクール コロナ対応 Q & A

【Q 1】 「新型コロナウイルスを 2 回接種したことが証明できるもの」はコピーでもよいか。

【A 1】 コピーでも結構です。

なお、ウイルスワクチン接種証明書類の確認は、協会事務局の職員が伺い受付時に対応する予定です。

【Q 2】 ワクチン接種が間に合わない場合の 48 時間以内の抗体検査等の“等”は具体的には何を指すのか。

【A 2】 PCR検査、抗原検査を指します。

【Q 3】 指定の健康チェックシートの提出は本校入場時に行うのか。

【A 3】 ウイルスワクチン接種証明書と同様に受付時に提出いただき、協会事務局職員が確認いたします。

【Q 4】 1 週間の健康状態によっては出場できないとあるが、こういった判断基準で誰が判断するのか。

【A 4】 1 週間の健康状態は、下記の判断基準により協会事務局職員が判断します。

チェックシートによる出場不可の判断

<体温>

37.5℃以上の熱もしくは平熱より 1℃高い熱が 4 日以上続いた場合

<鼻水、咳、痰、喉の痛み>

症状のどれかが 4 日以上続いた場合

<頭痛、下痢・嘔吐>

症状のどれかが 4 日以上続いた場合または大会当日 2 日前から続いた場合

<息苦しさ、倦怠感・筋肉痛、味覚・嗅覚異常、家族に発熱、家族に体調不良>

症状等のどれかが 1 日でもあった場合

※ 倦怠感・筋肉痛、家族に発熱は、新型コロナウイルスワクチン接種の副反応である場合は問題なし。

<家族が濃厚接触者として自宅待機中・海外から入国して 14 日以内>

該当する場合

【Q 5】 37.4℃の場合は出場を認めるのか。

【A 5】 受付時で 37.5℃を超えていなければ出場を認めます。

【Q 6】 協会が用意するマスクは選手をはじめ運営スタッフの分もあるのか。

【A 6】 選手、スタッフ全員の分を用意いたします。

【Q 7】 家族の健康シートも提出するのか。

【A 7】 ご家族の分のチェックシートは求めません。

【Q 8】 地方大会、全国大会の作業会場等の「作業会場等」は会場全体を指すのか。
会場全体をさすのであれば、引率教員は会場に入れないのか。

【A 8】 会場となる養成施設全体を指します。今回は感染予防のため、会場となる養成施設に入れるのは出場選手のみとさせていただきます。

【Q 9】 抗原検査はだれが行うのか、検査終了後の処理はどのようにするか。

【A 9】 抗原検査は協会が用意した抗原検査キットにより、協会事務局職員が行います。（抗原検査キットは協会が用意します。）

検査は別室で行い、陽性であれば別室で待機、地元保健所に連絡を行い、指示を仰ぎます。

【Q10】 「発熱の感染が予想される症状」などの判断しづらい表現が多い。

【A10】 下記の項目を感染が予想される症状とし、以下の様子が見られる場合は体温検査、抗原検査を行います。

○顔色が明らかに悪い

○唇が紫色になっている(マスクを外して確認ができれば)

○息が荒い(呼吸数が多い、肩で息をしている、ゼーゼーしている、胸が痛い)

○ぼんやり、もうろうとしている(反応が弱い、返事がない)

【Q11】 「大会事務局」とはどこを指すのか。

【A11】 地区大会においては各地区協議会、全国大会においては協会事務局を指します。

【Q12】 地区として安全・安心の大会運営のために、予選大会をリモートで開催することについては、問題ないか。

一部緊急事態宣言下の都道府県を含め、健康に問題ない者へのPCR検査は医療機関・行政ともに実施しないところがあり、選手、審査員を含む大会関係者の検査の活用が困難になるケースが、最悪想定されることから、今までの形式にとられない開催方法を検討したい。

【A12】 リモート開催については、問題ございませんが、全国大会の予選でもあるため課題内容は全地区共通となるよう、実施要領のとおりでお願いいたします。

各地区の裁量で、安全で中立・公平なコンクールを目指していただけたらと考えております。

【Q13】 仮に、グルメピックの出場により新型コロナウイルスに感染し、それに伴う入院費、治療費が発生した場合の費用は補償してもらえるのか。

【A13】 新型コロナウイルスは国の指定感染症となっているため、感染による入院・治療費は公費負担となります(保健所に申請ください)。コロナウイルス以外の調理作業による怪我については補償いたします。

【Q14】 作業中に陽性が判明した者が出た場合、地区大会をその場で中止にしてもよいのか(濃厚接触者も判明していない時点で作業を続けるわけにはいかないのではないか)。

【A14】 お見込みのとおり、中止として問題ありません。

【Q15】 「参加者の制限」とあるが、引率の教員は大会会場に入れるのか。

【A15】 第37回大会につきましては、地区大会・全国大会ともに、大会参加者と大会運営スタッフ(審査委員、コンクール実行委員、会場校スタッフ、事務局スタッフ、その他大会運営関係者)のみとなります。

【Q16】 緊急メッセージ送信用メールアドレスの取りまとめは誰が行うのか。

その際各学校からのメールアドレスの提出期限はいつまでか。

【A16】 地区幹事ないし会場校のどちらかで、緊急メッセージ送信の必要が生じた際に、迅速に行っていただける体制でメールアドレスの管理・取りまとめをお願いします。

【Q17】 PCR検査、抗原検査等による新型コロナウイルス陰性証明書は大会開催日を含め3日以内のものとするが検査を3日以内に受けるのか、検査結果が出た日付が3日以内なのかどちらで判断するのか。

【A17】 3日以内に受けた検査の証明で判断いたします。

【Q18】 10/13(水)に検査を受けさせても大丈夫か。※大会開催日が10/16(土)の場合

【A18】 「大会開催日を含め3日以内」のため、10月14日以降の検査が有効です。

【Q19】 今回のPCR検査、抗原検査等に要した費用は協会事務局が負担するのか。

【A19】 出場する学生については自己負担とし、会場校スタッフや審査委員等運営サイドの検査費用については、地区協議会費用で計上いただいて差し支えありません。

【Q20】 大会当日にワクチンを接種した証明、もしくはPCR検査・抗原検査で陰性であることの証明書を提出することになっているが、この証明書はどのように用意すればいいのか。

抗原検査は、いわゆる「研究用」の簡易検査キットでもいいのか。

【A20】 ワクチン接種証明は、接種したことが分かるものであれば、原本でも写しでもどちらでも構いません。(ワクチンパスポートなどでなくても大丈夫です。)

PCR検査・抗原検査の陰性証明については、こちらも陰性とわかるものであればメール受信画面等でも構いません。(必ずしも紙ベースでなくても大丈夫です。)

抗原検査は、簡易検査キットのものでも問題なしとしております。

【Q21】 受付での検温において、37.5度を超える場合は出場を認めない、とあるが、非接触型の体温計だと、正確な数値を測りきれないことがある、腋窩タイプの体温計の用意は必要か。

【A21】 非接触型の体温計は正確な数値を測りきれない場合はございますが、判断基準にできるものと考えております。

また、受付での検温に加えて、提出してもらったチェックシートにおいて、平熱から1℃以上あるかどうか判断基準にすることとしております。

【Q22】 万が一、選手の体調が急変したとき、別室にて抗原検査キットで検査、保健所へ通告、とあるが、例に示されている症状、または、受付時から段階的に体温が上がっている状態は、かなり深刻である。

本当に万が一を想定すると、そこまで体調が悪くなったときは、「速やかに救急車を呼ぶ」対応が必要ではないか。

その上で、状況を保健所に通告して、大会継続の可否を協議するのはどうか。

【A22】 選手の具合によっては迷わずに救急搬送の手段をとっていただくことも選択肢の一つと考えていただければと思います。

また、当然ながら、作業中に陽性者が出ることがあれば、大会は中止にせざるを得ないと考えられます。